

模倣の横行封じ込め

美川仏壇組合が認定書

全工程 職人が署名、押印

石川県美川町の美川仏壇組合は三十日までに、模倣品の横行を封じ込めるため、仏壇の七つの製造工程に携わった職人それぞれの署名と実印を押した「美川仏壇認定書」を購入者に発行することを決めた。認定書には、仕様基準に違反した場合の組合員の罰則規定も明記するという全国初の試みで、高級仏壇産地の責任と誇りを前面に打ち出して、地場産業の振興を図る。

美川仏壇組合によると、仏壇の製造について、木地は「クサマキ、イチヨウ、は不可とする」など、七工程それぞれに認定基準を設けた。

違反の罰則など明記

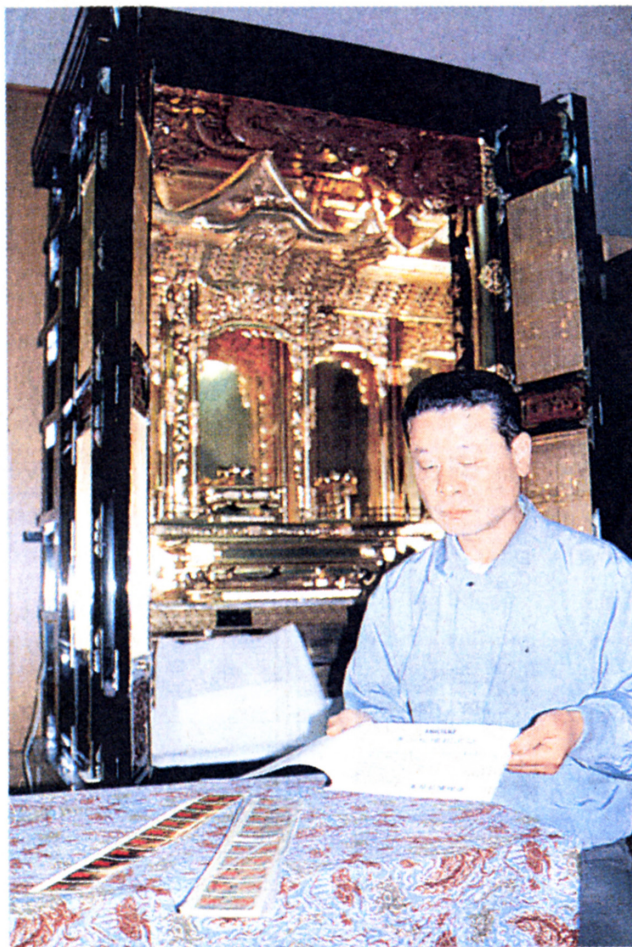
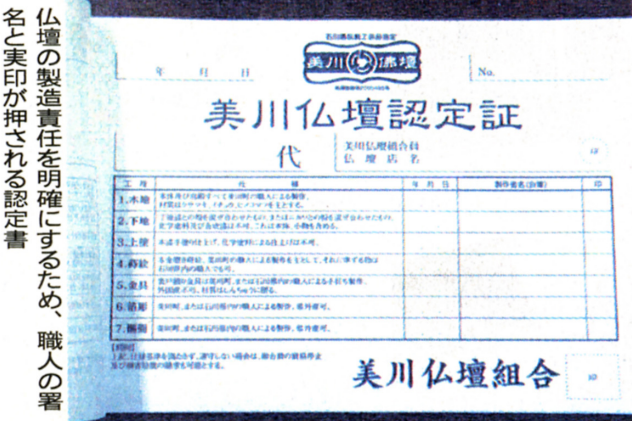
三月にも発行される認定書には、同様の表記を明記し、仏壇を製作した年月日と職人の署名、実印を押印する罰則規定も明記し、購入者保護にも乗り出す。美川仏壇組合では昭和六十二年に「美川仏壇」を登録商標とし、製造した仏壇にシールを貼付してきた。

ところが、昨年末に十年間の登録商標使用の更新期を迎えたのを機に、美川仏壇組合ではシールに番号を打ち、販売後に製造元を確認できるように改正、再び使

する。さらに認定書には「上記、仕様基準を満たさず順守しない場合は、組合員の資格停止および損害賠償の請求も可能とする」と

た。しかし、昨年末に十年間の登録商標使用の更新期を迎えたのを機に、美川仏壇組合ではシールに番号を打ち、販売後に製造元を確認できるように改正、再び使

美川仏壇 室町時代に初めて製作されたと伝えられ、江戸時代、型によって模倣を作りだす独特の堆黒(ついこく)と漆絵の名工湊屋村次郎が、蒔絵(まきえ)、漆絵を描く高い品位の仏壇を確立した。年間売



模倣品の横行を封じめるため認定書が発行されることになった美川仏壇 = 石川県美川町

三十日午後零時十分ごろ、北九州市小倉北区浅野三丁目のカラオケ兼飲食業「アサノ パティオ」の立体駐車場、同市小倉南区若園二ノ六ノ二、主婦近藤洋子さん(五)と娘(三)、孫の女児(三)の軽乗用車が車庫入れた直後に、入り口の扉が閉まりリフトが稼働、近藤さんが回転したりフト台座と鉄柱の間に頭を挟まれ死亡した。

立体駐車場で

北九州 リフ